

中村かずひこ通信



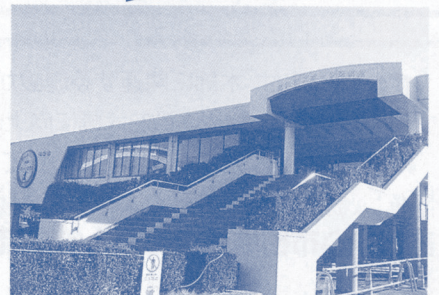
【発行元】中村かずひと未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285 vol.19
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail tonpei@i-berry.ne.jp

一般質問が実現しました!

『市民活動推進センター』が 1月20日 オープン!



NPOやボランティア団体などの交流、情報発信の場となる『市民活動推進センター』が1月20日(日)、いよいよオープンすることになりました。
同センターには、専任の職員が配置され、市民活動に関する様々な情報収集・提供、人材育成や団体設立に対するアドバイス、市民からの相談などの業務を行います。
「各団体の活動の場をいかに確保するか」といった課題がまだ残されていますが、このセンター開設が市民と行政の協働によるまちづくりに大きく寄与することを願うばかりです。



旧スケートセンターを活用して整備された『市民活動推進センター』

市民と市政のかけ橋になりたい!!

☆お気軽にお声をかけて下さい。

お友達との井戸端会議、勉強会等、2〜3人でも結構です。どこへでも伺いたします。

☆あなたのアイデアを市政にいかしたい!

お気づきの点がございましたら、どんなささいなことでも結構です。ぜひご意見を!

“交流人口”の拡大に向けて...

12月定例議会・一般質問



12月定例議会の質疑・一般質問が10日(月)、11日(火)の2日間にわたって行われ、中村は最終質問者(11日の4人目)として登壇しました。

今回中村は、福田市政が現在力を入れている「観光

を切り口とした交流人口の拡大」にテーマを絞り、計2件の一般質問を行いました。(中面に関連記事)

一回必も

9月定例議会からスタートした「一問一答方式」も今回が2回目。前回、「あれもこれも」と計5件もの質問をしたところ、議論が拡散してしまった感が否めませんでした。

そこで今回は、思い切ってテーマを一点集中に絞ってみると、なるほど、これがやりやすい! 質問の形式が変わる中で、議員の質問も「何を重点的に訴えるべきか」が問われているのかも知れません。

中村が行った一般質問の内容

1. 真岡木綿の振興策について

- (1) 真岡木綿会館の来場者への対応について
- (2) 真岡木綿会館周辺での定期的なイベントの開催について
- (3) 織り手の育成について
- (4) 新商品の開発、他業者との連携について
- (5) 真岡木綿を活用したクールビズの開発について

2. ごみ処理施設の建設計画について

- (1) ごみ処理施設建設に対する市長の考え方について
- (2) 観光拠点の周辺にごみ処理施設を建設した場合の影響について
- (3) ごみの減量化(生ごみの堆肥化)について

「見逃した!」という方に
バックナンバーをお送りします

これまで『未来をつくる会』では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1〜18号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。
こちらからお送りさせていただきます。

市政改革の
元気印!

中村は2008年も全力で挑みます



市議会での一般質問



総務常任委員会委員長として
(行政視察での1コマ)



朗読ボランティア「ひばりの会」
での活動



青年会議所での活動
(創造美育勉強会より)



大学院でともに勉強した
群馬県沼田市の星野巴喜雄市長と

次回発行予定日

4月6日(日)

次回の「中村かずひこ通信」は

発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。



中村かずひこ議会レポート

12月定例 議会一般質問

答弁者：福田武隼 市長
馬場照夫 産業環境部長

1. 真岡木綿の振興策 について



質問 今年度、真岡市では約9,700万円をかけて『真岡木綿会館』が建設されることになった。今後の課題として考えられるのが、来館者が利用する駐車場の問題である。そこで、

- ①『真岡木綿会館』の来場者をどのように予測しているのか。
- ②現時点で駐車場として活用を考えているので、**駐車可能な台数**はどの程度なのか。また、以前の答弁では『大型バスの場合、真岡木綿会館前で観光客が降り、久保講堂南の市民広場に駐車していただく方法もある』とのことだったが、これでは**観光客に不便**を強いらせる。
- ③地元商店会などに協力を仰ぎ、**さらなる駐車スペースを確保する努力が必要**であると考えているか。

答弁 ①真岡木綿工房の平成18年度実績を基準に2割増と考え、1日平均来場者を約10人、**年間来場者を約3,000人**と想定している。

②普通乗用車は、真岡市物産会館南側の駐車場と、近隣の金融機関駐車場で**約30台**と考えている。大型バスについては、久保講堂南側の市民広場に駐車してもらう方法で対応する。

③**寿町の中央商店街振興組合**で管理している駐車場は、**土・日・祝日は無料開放**しているのので、『真岡木綿会館』への来場者の駐車場として**借用すること**で了承を得ている。

質問 真岡市は、木綿に関連する施設が集積しておらず、『真岡木綿会館』の整備のみで、観光客数を大幅に向上させるのはなかなか難しいことと思われる。『真岡木綿会館』のオープンに合わせて、その**周辺で何か定期的なイベント**を開催し、誘客に努めてみてはどうか。例えば、『朝市』などができれば、**市内の農家と中心市街地商店街の人的交流も**活発になり、地域の活性化にもつながると思うが。

答弁 商工会議所に組織されている『**中心市街地活性化推進協議会**』において、真岡木綿会館、物産会館、金鈴荘を連携させた**定期的なイベント開催**を計画している。中心市街地活性化事業として、観光客や市民の交流も期待できるので、市としても支援していく考えである。

質問 真岡木綿は今も、**全ての作業工程を1人が担う**方法がとられている。これは、単純に弱点と決めつけるべきものではなく、今後のやり方次第によっては『**作り手の顔が見える商品**』という強みにもなり得る。しかし、現在織り手は15名という状況にある。今後**どのように織り手を育成する**のか。また、**最終的には何人位の体制**にしていく計画なのか。

答弁 平成20年1月から『**技術者養成講座**』の第9期生として、**8名を募集**することになっている。最終的に織り手の体制を何人程度にするかについては、建設される『真岡木綿会館』が生産工房というだけでなく、来場者が機織りや染色を体験できる施設でもあるので、**約30名が必要**であると考えている。

質問 真岡木綿の一層の振興を図るためには、**より魅力ある商品開発が必要**であるが、**今後どのような取り組み**をしていくのか。また、インターネットで検索すると、最近は様々な布を活用し、小物・雑貨類を製作・販売しているグループを数多く確認できる。そうした団体と連携を図り、新しい商品やデザインを検討するのも、1つの方法ではないだろうか。

答弁 現在、**真岡木綿の製品**については、**40種類63品目**を取りそろえている。特に平成17・18年度に、新商品開発に力を入れた結果、新たに5品目が製品化された。今後も引き続き、消費者ニーズを的確に把握しながら、付加価値の高い商品を開発していきたい。なお、**他業種との連携**については、**真岡木綿保存振興会の中で検討**していく。

質問 来年夏に向けて、**真岡木綿を活用したクールビズを開発**することは**できないもの**か。確かに、真岡木綿の生地を全面使用すると高価格になってしまうが、胸元など部分のみであれば開発は可能であると考えている。また、開発されたクールビズについては、**市役所、市議会、商工会議所**などの関係者が**率先して身につけ、真岡木綿のPR**に努めてはどうか。

答弁 真岡木綿の生地を一部使用した開襟シャツなどを、製作することは可能であるので、**試作品を『真岡木綿会館』に展示し、来館者の反響を参考**にしたい。なお、市役所、市議会、商工会議所などの関係者が見につけることについては、生産体制の課題もあるので、現時点では難しいものと考えている。

2. ごみ処理施設の建設計画 について



質問 今、真岡市では『真岡木綿会館』の建設、『農産物販売交流施設』の整備、PR番組の制作・放映など、**観光を切り口とした交流人口の拡大**に力を入れている。それにも関わらず、現時点でも真岡市の顔であり、今後も交流人口拡大の拠点になる**井頭公園の周辺に、ごみ処理施設建設**を計画するというのは、**市の方針と整合性が取れていない**のではないかと。

答弁 新しいごみ処理施設は、自然との調和を重視した建物の形状や色彩、また**景観にも配慮し、周辺環境への影響を少なく**するような施設づくりを進めていく。さらに、周囲には緩衝緑地や多目的広場を設け、**環境学習施設として整備**していきたい。

質問 全国で、既に**観光拠点となっている場所の付近に、ごみ処理施設を建設したケース**は一体どの位あるのか。また、そうした場所で建設後、観光客数の減少などの影響はどの位出るものなのか。そうした調査は、市として行ったのか。

答弁 佐野市の『**みかもクリーンセンター**』は、**栃木県みかも山公園のすぐ北側**に位置している。また、県外には市民農園とごみ焼却施設との併設や、熱源を利用した温浴施設などがあり、いずれの施設も観光客の減少はないと聞いている。

質問 現在、**野木町では、町民全体から出された生ごみを堆肥化**し、近隣の農家などに分け与えているが、同様の取り組みは**真岡市でも考えるべき**ではないのか。堆肥が有効に活用されれば、ごみの減量化、循環型社会の形成が可能となり、『環境都市・真岡』の確固たる地位も築けると思われるが。

答弁 **生ごみの堆肥化**を実施する場合、現行のごみ分別をさらに細かな方法で行う必要性があり、保管する際の悪臭や害虫の問題、さらに収集・運搬体制の再検討など、**多くの課題が考えられる**。そうしたことから、生ごみの堆肥化は『ごみ処理広域化基本計画』策定の中で検討した結果、**実施しないこととなった**。

再質問・再々質問



真岡木綿の振興策について

質問 来場者の予測が、**現状の2割増**というのは余りにも寂しい印象を受ける。あくまでも、オープン当初に限った話なのであろうが、では、その後どのように来場者を増やす考えなのか、目標を聞きたい。

答弁 確かに、2割増というのは寂しい話である。現在の織り手の人数でどこまで対応ができるか課題もあるが、**目標としては5割増程度になってくれば**と考えている。

質問 目標は5割増とのことであった。また、『真岡木綿会館』は体験型の施設でもあり、小中学生の社会科見学などで、大型バスを使って来場するケースも今後は増えると思われる。オープン当初は難しいとしても、**周辺に駐車場を確保する努力は必要**ではないのか。

答弁 オープン当初は難しいが、今後、周辺に駐車場を**確保すべく検討課題**としていく。

質問 これから『技術者養成講座』の9期生を受け入れ、最終的に現在の倍である30名体制にしていきたいとの話であった。しかし、これまでの8期生で、実際に**織り手**になっているのは15名。**1期ごとに平均2名弱**という状況である。この課題について、どのように分析しているのか。

答弁 これまでに35名の『真岡木綿技術認定者』を養成してきたが、高齢化や転勤など家庭の諸事情により、現在は15名となっている。また、**待遇改善も課題の1つ**と考えている。そうしたことを踏まえて、今後30名の織り手を確保できるよう努めていきたい。

質問 『クールビズの試作品を作る』とのことであったが、真岡木綿を盛り上げようとしている時期に、**なぜ試作品作りにとどまるのか疑問**である。生産体制の課題を挙げていたが、真岡木綿の生地を胸元10cm程度のみ使用すれば、1つの反物で100着の材料が確保できる。**要はやる気の問題**である。『作るか否かを検討するための試作品』なのか、『作ることを前提として、より良いものを作るための試作品』なのか、**同じ『試作品』にも2つの意味があるが**。

答弁 真岡木綿の発展には、魅力ある商品開発が必要不可欠であるので、**より良いものを作っていけるよう取り組んでいきたい**。

ごみ処理施設の建設計画について

質問 **煙突**を1つの例として挙げると、『**60m弱**』という**高さ**が、全国的な水準となっている。これが、**井頭公園**などから見えるのは、観光客からすれば決して**良い印象は抱かない**だろう。『景観に配慮した施設』との答弁であったが、具体的にはどのようなものを指すのか。

答弁 堀内地内の候補地は、根本山の頂上とほぼ同じ標高があり、環境面への影響を考えると、より安全な場所と言える。また、**井頭公園から相当の距離も保たれているため、景観への影響はないもの**と考えている。

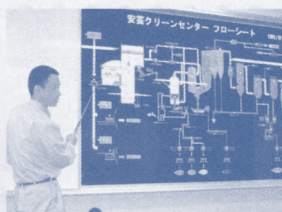
質問 真岡市は『環境都市宣言』をしており、ごみの減量化や循環型社会の形成という課題に取り組んでいく必要がある。そうした中で、**新しいごみ処理施設が従来通り『ごみを集めて燃やすだけでいいのか』**という疑問を抱く。どのようにして2つの課題に取り組むのか。

答弁 真岡市は他の自治体に比べて、**ごみの減量化が進んでいる町**である。また、**生ごみの堆肥化**について見ると、茂木町では、全町の約1割の生ごみを堆肥化するのに、初期投資に6億円、年間の経費に2,000万円かかっており、**費用対効果の面で疑問**が残る。



真政クラブ・公明 会派視察研修

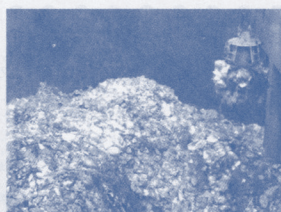
11月5日～7日にかけて、中村が所属する会派『真政クラブ・公明』では、広島県坂町と静岡県掛川市へ視察研修に赴きました。



坂町にて（ごみ処理施設の建設について）

平成14年に竣工した「安芸クリーンセンター」を視察。様々な炉のタイプがある中、同施設では①燃焼温度が高くダイオキシンの発生が最も抑えられる②ごみ焼却の際、発電ができる等の理由から「流動式ガス化溶融炉」を採用している。

施設周辺に海水浴場があり、『観光地周辺にごみ処理場が建設された場合の影響』についても調査できると期待したが、元々し尿処理場があった場所だったと知り、その点はいささか残念だった。



掛川市にて（新市庁舎建設計画について）

昭和31年に建設された旧庁舎が老朽化したことにより、平成8年に現在の庁舎を完成させた。同市は、前市長の橋村純一氏が「生涯学習のまちづくり」を提唱し、ユニークな施策を打ち出したことで知られ、この庁舎も「生涯学習の総本山」と位置付けられている。

ちなみに、真岡市の現在の庁舎完成は昭和32年（掛川市の旧庁舎の1年後）。豪華な庁舎には疑問を感じるが、市民への利便性などを考えると、新庁舎建設の議論についてはそろそろ必要かも知れない。



今回の視察では、下記の金額が公費でまかなわれました。
(3日間・議員1人あたり)

総額	87,220円	出所	政務調査費
内訳	交通費、宿泊費、相手先みやげ代		

※当然のことですが、視察中の飲食代は、全て議員の個人負担です。

なお、視察の詳しい所見については、中村のホームページに掲載予定です。

コラム むーむあっぴ

議会改革に向けて

～二〇〇八年年頭の誓い～

皆様の温かいご支援により、市議会議員として2期目の活動がスタートしてから早9ヶ月がたとうとしている。無我夢中だった1期目の時と比べると、少しは冷静な目で1つ1つの事柄を見ることが出来るようになってきたと思う。

そうした中であって、最近自分の皮膚感覚として痛切に感じることもある。それは、地方分権時代の到来を受けて、首長と並んで二元代表の一翼を担う地方議会の重みが一層増してきたということである。北海道夕張市の例を出すまでもなく、議会がチェック・決断を誤れば、即自治体の衰退・破たんにつながる。

その一方で、地方議会に対しては別の意見があるのも事実である。「全国の地方議会でも見習って欲しいものですね」福島県矢祭町議会で、議員報酬が全国初の日当制に改められたことを受けて、マスコミ等では盛んにそうしたことが論じられてきた。報酬の多寡については様々な議論があるだろうが、議会に出席するという行為以外の調査・研究・報告などの活動が一切保障されない

のならば、議会のあるべき姿を模索しようにも自ずと限界が出てくる。(その程度の議会では、日当を払うことすらムダとを感じるが)しかし、そうした声が出ること自体、“議会不要論”が世論の中に根強くあることを証明しているのだろう。

これから、私たちはいかにして、時代の要請に応えられる議会をつくり上げていくべきなのだろうか。

昨年を振り返ると、真岡市議会では『質問時の一問一答方式』の採用や、『常任委員会の原則公開』など、議会改革が少しずつではあるが進んできたと言える。しかし、これはほんの“序章”に過ぎない。特に、現在の真岡市を見渡したとき、二宮町との市町合併や、新しいごみ処理施設の建設計画など、真岡市の将来をも左右する様々な課題が横たわっている。そうした中で、より掘り下げた議論ができる組織となるために…。この1年間で、議会改革の“本丸”とも言える、常任委員会の審議方法、会派の運営方法などについて、力点を置いて訴えていきたいと考えている。

中村かずひと未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える「中村かずひと未来をつくる会」では個人献金に限り、カンパを受付けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとづいて適正に処理します。

※入会希望の方は

中村までご連絡下さい。

〔振り込み先〕
真岡信用組合本店
普通口座 2099671

中村かずひと未来をつくる会
代表 中村和彦



中村かずひと活動目録

- | | | | |
|------|--|----------|---|
| 10/1 | あいさつボランティア
市政功労者表彰式
芳賀教育美術展 | 11/17-18 | 「伊夜日子会」研修旅行
あいさつボランティア
県南6市議会議長会講演会(於:小山市) |
| 3 | 明るい選挙推進大会(於:芳賀町) | 19 | 真岡市教育祭 |
| 6 | 「地方自治ネットワーク」研修会(於:東京・憲政記念館) | 20-22 | 清溪セミナー(於:東京・日本青年館) |
| 8 | さわやかデイホーム悠々運動会 | 22 | 真岡地区PTA連絡会との懇談会
真岡青年会議所長期ビジョン策定委員会 |
| 9 | 感染性医療廃棄物処理場の説明会 | 25 | 真岡西小学区青少年健全育成大会
あいさつボランティア
議会運営委員会
市議会だより編集委員会 |
| 11 | 芳賀教育美術展 | | |
| 13 | 真岡市総合防災訓練 | 12/1 | 真岡の自然観察会役員会 |
| 14 | 西真岡保育園運動会
地域公民館まつり | 3 | 議員協議会
12月定例議会開会
ごみ処理施設建設候補地を視察 |
| 15 | あいさつボランティア | 4 | 一般質問通告
※その後、市の担当部署と内容のすり合わせ |
| 16 | 「ひばりの会」定例会 | 5 | 真岡青年会議所予定者臨時理事会 |
| 17 | 芳賀教育美術展 | 7 | 真岡市消防団本部役員・部長懇談会 |
| 20 | 芳賀教育美術展 | 10 | あいさつボランティア
質疑・一般質問1日目
議会運営委員会
議員協議会 |
| 21 | 芳賀教育美術展 | 11 | 質疑・一般質問2日目
※この日、4人目に登壇 |
| 22 | あいさつボランティア | 12 | 真岡青年会議所通常総会 |
| 25 | 市議会だより編集委員会 | 13 | 総務常任委員会 |
| 29 | あいさつボランティア
議会運営委員会
真岡青年会議所予定者理事会 | 17 | 北関東自動車道建設現場を視察
環境とリサイクルを考えるシンポジウム |
| | | 17 | 議会運営委員会
議員協議会
12月定例議会開会 |
| 11/1 | 明治大学栃木県校友会「マンドリンコンサート」
※スタッフとしてお手伝い | 20 | 真岡青年会議所コミュニティネットワーク委員会 |
| 3 | 真岡青年会議所例会 | 22 | 「地方自治ネットワーク」研修会
「都市政治フォーラム」研修会(いずれも東京都内) |
| 4 | 「伊夜日子会」奉仕作業 | | |
| 5-7 | 会派視察研修(広島県坂町、静岡県掛川市) | | |
| 8 | 芳賀郡市町議員自治研修会(於:日光市) | | |
| 10 | やまさわの里役員会 | | |
| 11 | ふれあいフェスティバル | | |
| 12 | あいさつボランティア
会派建議要望の回答書受け取り | | |
| 13 | 合併協議会の傍聴
真岡青年会議所コミュニティネットワーク委員会 | | |
| 14 | 小山市中央清掃センター、野木町資源化センターを視察
真岡青年会議所例会 | | |